



令和4年度 あわら市本荘小学校 スクールプラン

あわら市基本理念

ふるさとあわらを愛し、一人一人が夢や希望を持ち個性が輝く教育

教育目標

ねばり強くがんばり 心やさしく 健やかな子の育成

めざす児童像

・進んで学び表現する子(知)・思いやりのある心やさしい子(徳)・心身ともに健康でねばり強く努力する子(体)

重点目標

【確かな学力】	【豊かな心】	【健やかな体】	【信頼される学校】
◎ 基礎的・基本的な学習内容の定着	◎ 思いやりの心の育成	◎ 体力の増進	◎ ふるさと教育の充実
◎ ICTを取り入れた主体的、対話的で深い学びへの挑戦	◎ 特別支援教育の充実	◎ ネット利用に関するルールの定着	◎ 危機管理の強化
○ 探求型学習スタイルへの転換	◎ いじめ・不登校の未然防止	◎ 基本的生活習慣の定着	○ 教育活動の発信

具体的な取組

教師の役割：自分で(自分たちで)到達目標を立て、それに向かって協力しながら取り組むことができるように支援していくこと

<ul style="list-style-type: none"> ・ 月未確認テスト(国・算)の目標点数を設定し、それに向けて自主的に学習を継続することで学習内容の定着を図ります。 ・ 常時タブレットを手元に置くことで、授業に限らず多様な活用方法について研究、実践していきます。また、タブレットを活用した家庭学習にも取り組みます。 ・ 相手が話しやすいように、聞き(聴き)上手になることを目指し、対話がより活発になっていくことを目指します。 ・ いくつかの単元で、探求型学習スタイルの実践をし、その成果を発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分も含めた全ての命を大事にする「命の教育」の実践を進め、思いやりの心を育みます。 ・ 理解教育の推進と、個に応じた丁寧な支援を実施していきます。 ・ 縦割り班活動の充実により、つながりと帰属意識を高め、楽しく学校に通えるようにしていきます。 ・ 5感に刺激を与えるような様々な体験活動を積極的に取り入れ、心を耕していきます。 ・ 情報の共有を図り、全教職員で全児童を見守ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Qタイムマラソン等、体を動かす時間を設定し、個に応じた体力づくりを意識させます。 ・ 「時間を守ること」「整理整頓をすること」「挨拶をすること」の三つを徹底し、基本的生活習慣の確立を目指します。 ・ 家庭と連携を図りながら、「本荘っ子スマートルール」の徹底を目指します。 ・ 家庭と連携し、「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組みます。 ・ 新型コロナウイルス感染症予防のための行動様式を引き続き徹底します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ボランティアを積極的に活用しながら、ふるさと学習を進めていきます。 ・ 本荘・新郷地区の歴史、旧跡をめぐる活動や「藤野厳九郎」について学ぶ活動を継続し、その成果を発信していきます。 ・ 緊急時の校内体制を整備し、引き渡し訓練等の実施により保護者にも危機管理意識の周知・徹底を図ります。 ・ ホームページや各種お便り等で学校での子ども達の様子をこまめに発信していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字や計算の学習に熱心に取り組む児童 90%以上 ○ 進んで図書室を利用して読書をする児童80%以上 ○ 授業が分かりやすくて楽しい(充実している)と思う児童 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と仲よくし、自分や友達を大切にしている児童 90%以上 ○ 学校で活動することが楽しいと感じる児童 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標をもって運動に取り組んでいる児童 90%以上 ○ ネット利用のルールを家族で決め、守ろうと努力している児童 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校は、地域と連携した教育活動を行っていると感じる保護者 90%以上 ○ 学校は、安心安全な学校づくりに努めていると感じる保護者 90%以上

めざす教師像

◆主体的に生きようとする子どもを育て、子どもを愛し、寄り添う教師 ◆指導力向上や授業改善に努め、学び続ける教師 ◆節度ある態度と良識を備え、保護者や地域から信頼される教師

〈業務改善のための取組〉～教職員が心身共に健康で子ども達と丁寧に向き合うために～

●学校行事、会議等の精選および見通しを持った事務処理等の遂行 ●校務支援システムやICTの有効活用 ●ライフワークバランスの意識向上

今年の学校経営のテーマ『つながり』と『発信』。そして、これらをつなげるキーワードは『ことば』です。